

ナンバリング		授業科目名(科目の英文名)					区分・【新主題】/(分野)		授業形式							
E112F010		地理学特講 (Special Lecture on Geography)							対面							
必修選択	単位	対象年次	学部	学期	曜・限	主に使用する言語	その他に使用する言語	担当形態								
選択	2	3	教育学部		月5	日本語	英語	単独								
担当教員	氏名 土居晴洋 E-mail hdoi@oita-u.ac.jp (土居) 内線 7549 (土居)															
授業の概要	系統地理学に関する領域を幅広く取り上げ、担当教員による地域調査の成果などを基礎として具体的事例を提示し、各領域に関わる諸概念や諸現象の特質について理解を深める。															
具体的な到達目標							DP等の対応(別表参照)		1	2	3	4	5	6	7	
目標1	地域における社会、自然環境の形成メカニズムや要因や背景を考察できる。															
目標2	景観写真や地図、グラフなどの資料から地理的情報を適切に読み取ることができる。															
目標3	現代社会や身の回りの自然現象の中にある本質を読み解き、考察できる。															
目標4																
目標5																
目標6																
目標7																
目標8																
目標9																
目標10																
各DPへの関連度(計10)							2	2	2	2	1	1				
授業の内容																
1	地誌学とは何か															
2	大分市と別府市,それぞれの個性(別府市の場合)															
3	大分市と別府市,それぞれの個性(大分市の場合)															
4	インドの国土と自然															
5	インドの歴史とカースト															
6	カースト社会の特質															
7	インドの農村・農業の近代化															
8	インドの経済発展とIT産業															
9	中国の国土と自然															
10	中国の政治と経済発展															
11	中国の産業の動向															
12	中国の都市社会の特質															
13	中国内陸地域の発展と課題															
14	身近な地域の地誌学的考察															
15	地誌学で捉える現代社会															
16	期末試験															
17																
18																
19																
20																
21																
22																
23																
24																
25																
26																
27																
28																
29																
30																
ラーニング	A:知識の定着・確認		図・グラフ等の作成,グループによる資料読解等を行う。				工 夫		LMS (Moodle) の活用							
ニング	B:意見の表現・交換						そ									
ン	C:応用志向						の									
グ	D:知識の活用・創造						他									

授業時間外 学修の内容 と想定時間	準備学修	資料の読解，疑問点の整理（15h）										
	事後学修	課題の実施（30h）										
	想定時間合計	45										
教科書	教科書は使用しない。 授業時にプリント等を配布する。											
参考書	稲垣綾『現代社会の人文地理学』（古今書院，2014年），松原宏『現代の立地論』（古今書院，2013年），高橋日出男ほか『自然地理学概論』（朝倉書店，2008年），貝塚爽平ほか編『写真と図でみる地形学』（東京大学出版会，1985）											
成績 評価 の 方法 及 び 評 価 割 合	評価方法	割合	目標 1	目標 2	目標 3	目標 4	目標 5	目標 6	目標 7	目標 8	目標 9	目標 10
	質疑応答など授業への参加状況	30%										
	課題の提出	30%										
	期末試験	40%										
注意事項												
備考												
リンク												
	URL											